

## 1. パッシブシステムによる環境調整

### パッシブシステム

◇ 建物全体の性能によって熱の流れを\_\_\_\_\_することにより、暖房や冷房の効果を  
を得るシステム。

→ 建物を流れる\_\_\_\_\_を, 特別な\_\_\_\_\_を用いずに, \_\_\_\_\_(\_\_\_\_\_), \_\_\_\_\_,  
\_\_\_\_\_によって\_\_\_\_\_に流れるようにする。

→ 自然の環境に適応しながら, 自然の持つ潜在力(\_\_\_\_\_)を有効に活用する。

→ 建物全体が, システムの構成部品であり, 通常の冷暖房装置のように建物と分離できる独立  
したシステムではない。

◇ 地球環境問題 → 環境への負荷が少ない居住環境が求められる。

→ \_\_\_\_\_エネルギー化, \_\_\_\_\_エネルギーの\_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_利用エネルギーの利用  
を図る必要がある

→ 伝統的な\_\_\_\_\_に見られる環境調整手法に学ぶ点が多いのではないだろうか?

→→ 昔は, 空調機器などはなかったが, 快適な環境を創り出すために, その土地の  
\_\_\_\_\_に特有の様々な工夫を施してきた。

→→ 2. 伝統的民家における環境調整を参照。

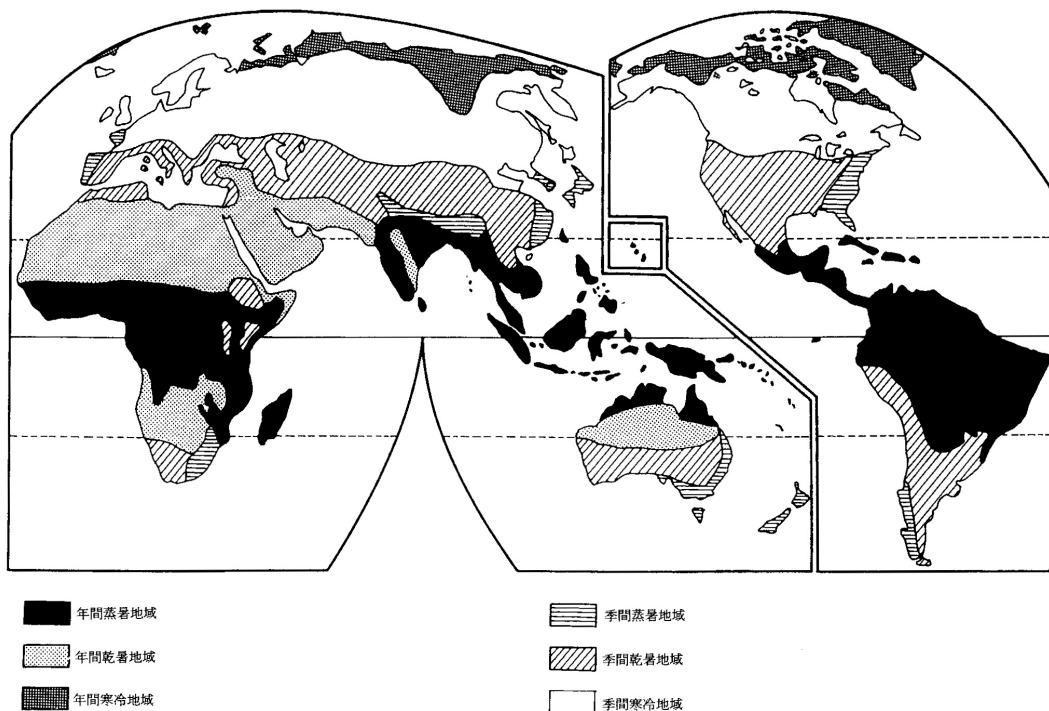


図 世界の気候と民家（出典：①, p. 13）

### （1）パッシブシステムの利点

- ・ \_\_\_\_エネルギー
  - ・ \_\_\_\_冷暖房時における居住性の向上
  - ・ 建物自体の\_\_\_\_
- ◇ ただし、パッシブシステムだけでは限界があり、アクティブシステムとの\_\_\_\_が実際的である。

### （2）パッシブシステムの評価のためのポイント

- ・ 最低限必要とされる居住環境レベルが実現できているか？
- ・ 必要に応じてアクティブシステムを稼働させた時のエネルギー消費量はどうか？

### （3）パッシブシステムのデザインプロセス

- 1) \_\_\_\_の気候特性を把握し、コントロールすべき気候\_\_\_\_を明確にする。

気候要素：日射，外気温，風（風速・風向），周囲の表面温度，地中の温度など

- 2) 気候要素ごとに、それらをコントロールする技法を検討する。

冬：できるだけ多くの熱を\_\_\_\_。できるだけ熱が\_\_\_\_ようにする。上手に熱を\_\_\_\_。（防寒，採暖）

夏：できるだけ熱の\_\_\_\_を防ぐ。できるだけ熱が\_\_\_\_ようにする。上手に蓄\_\_\_\_を行う。（防暑，採涼）

- 3) 技法間の\_\_\_\_を調整し，統合する。

冬の技法と夏の技法の矛盾の調整，同じ目的を持ちながら生じる技法間の調整

→それとも，季節が変わると，技法も変える仕組みを考えるか？

→→建物も衣替え？

## 2. 伝統的民家における環境調整

表1 暑熱地域における防暑・採涼手法の効果別分類（出典：①，p. 14）

手法の例	年間乾暑	季節乾暑	年間蒸暑	季節蒸暑
代表地域	砂漠地方	地中海 中東地方北部	東南アジア カリブ海諸国	日本 米国東海岸 中国南東海岸
夏 気温	日中 27～45℃ 夜間 5～15℃ 平均湿度 5～15%	日中 36～46℃ 夜間 18～24℃ 平均湿度 8～20%	日中 26～33℃ 夜間 21～25℃ 平均湿度 70～90%	日中 26～32℃ 夜間 20～27℃ 平均湿度 70～80%
冬 気温	日中 20～30℃ 夜間 0～5℃	日中 4～15℃ 夜間 -7～-2℃	日中 21～24℃ 夜間 16～18℃	日中 10～15℃ 夜間 -2～-5℃
晴天時 日射量	1.1～1.2kW/m <sup>2</sup>	1.0～1.2kW/m <sup>2</sup>	1.0～1.1kW/m <sup>2</sup>	0.85～1.1kW/m <sup>2</sup>
集落形態	互いに密集して日影を作る		住居は互いに離れて建ち、風通しをよくする	
通風	比較的少ない	採風塔 室内の池	年中開放 打ち水	高天井 打ち水、池
加湿冷却				
日除け	厚い壁、小さい窓	マシュベアー、回廊	庇	庇、格子、簾
蒸発冷却	土屋根は少量の雨を吸収	素焼きの甕	茅葺屋根	茅葺屋根、瓦屋根
日射反射 大気放射	白っぽい土色の屋根と外壁	白壁	多雨のため白は汚れる	反射は意図しない
屋根の形	陸屋根、ドーム	緩勾配屋根	急勾配屋根、二重屋根	急勾配屋根、二重屋根
床	土間床	土間床	高床	竹麻造り
蓄熱容量	石造り、日干煉瓦	石造り、日干煉瓦	軽量	土蔵造り、土間
煙突効果	日射加熱塔 排風型ドーム	排風型ドーム バドギア	通風孔	換気孔、煙出し
水面 調湿	オアシス	噴水のある広場	水上家屋 ゴザ、木	池 土壁、タタミ、木
土壌接触	地中住居、横穴住居	窯洞、地下風道	盛土土間	盛土土間
夜間冷氣	屋上寝台	中庭の下部に滞留	自然換気のみ	土壁に蓄熱
中庭	採光のためのみ	非常に多い	一般にない	少ない、坪庭
前庭 植栽	あまりない あまりない	あまりない 中庭に植樹し影を作る	草木は高く多い 大木に囲まれる	植物、池を配する 藁、大木、灌木、芝生

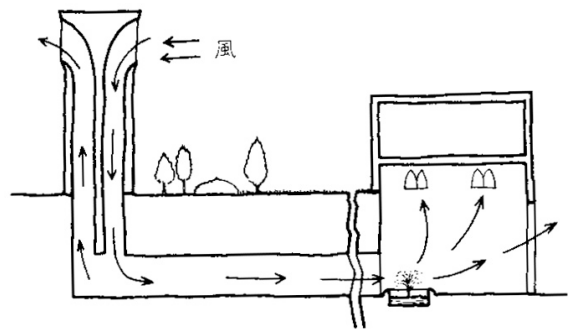
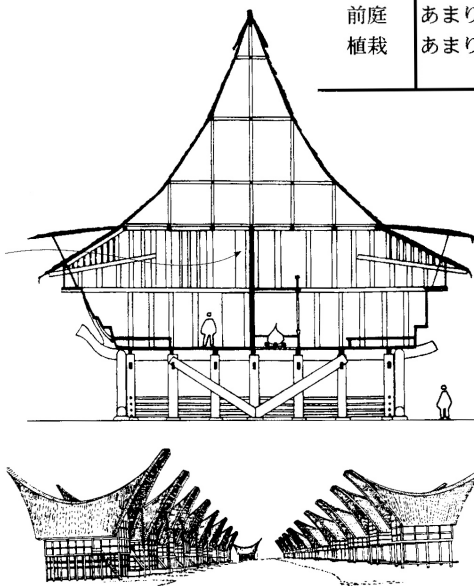


図1 イランのパッシブクーリングシステム（出典：②，p. 92）

←図2 熱帯雨林気候における住居（出典：③，p. 60）

→スライド

・『Sol Power - The Evolution of Solar Architecture -』(出典：③)より

- 1) ステップ気候帯におけるパッシブ環境調整手法（パキスタンの\_\_\_\_\_塔，バグダッドの民家）
- 2) 熱帯雨林気候帯におけるパッシブ環境調整手法（インドネシア・南スラウェシの民家，インドネシア・スマトラの民家）← \_\_\_\_\_を深く， \_\_\_\_\_に
- 3) 地中海性気候帯におけるパッシブ環境調整手法（イタリア・ジェノアの街並み，南イタリアのある村の民家，ギリシャ・サントリーニの民家）← \_\_\_\_\_を作り， \_\_\_\_\_い家に

\_\_\_\_\_・ \_\_\_\_\_手法の例

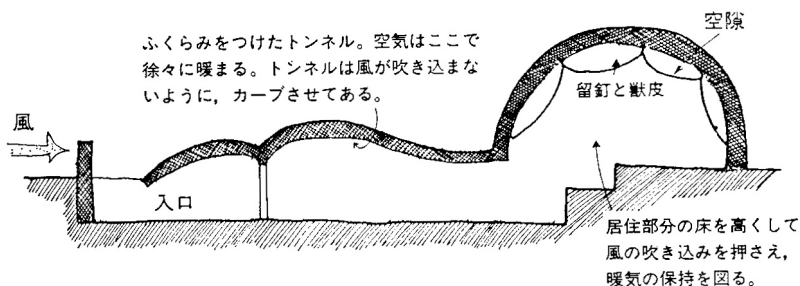


図3 エスキモー・イヌイットの家イグルー（出典：④， p. 146）

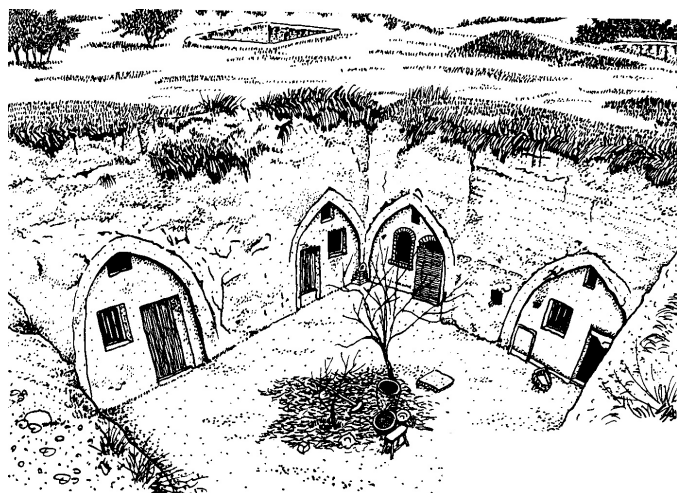


図4 中国の地下住居（出典：[28]， p. 10）

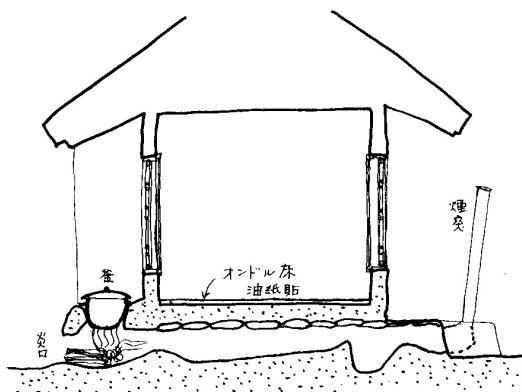


図5 韓国のオンドル（出典：⑤， p. 30）

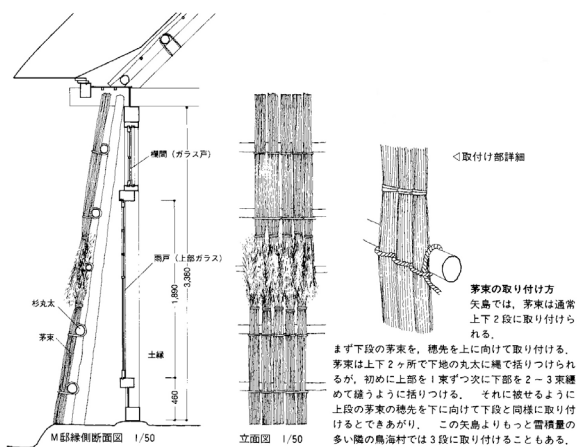


図6 秋田県の雪囲い（出典：⑥，p.62）

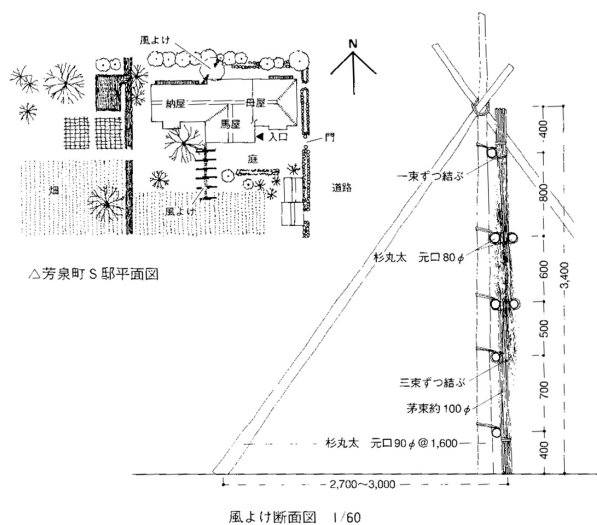


図7 山形県の風よけ（出典：⑥，p.65）

⇒南阿蘇村から大津町にかけて，立野集落から瀬田集落の白川沿いに「まつぼり風」を遮るための防風林や防風垣がある。

→スライド

・『Sol Power - The Evolution of Solar Architecture -』（出典：③）より

1) 冷帯気候帯のパッシブ環境調整手法（エスキモー・イヌイットのイグルー）

←冷たい\_\_\_\_\_の浸入を防ぐ

2) 西岸海洋性気候帯のパッシブ環境調整手法（スペイン・サン・セバスチアンの建物，イギリスのジョージ朝時代の家）←\_\_\_\_\_を厚く

・その他の書籍より

3) 雪囲いと風よけ

4) オンドルの構造例

5) 中国の地下住居←地中の温度は，年間を通じて\_\_\_\_\_

6) トルコの岩に掘られた住居

### 3. 参考文献（〔〕内は、熊本県立大学学術情報メディアセンター図書館所蔵情報）

#### パッシブな環境調整

- [1] 『建築探訪4 住まいの中の自然』（小玉祐一郎，丸善，1992年10月，¥2,300+税，ISBN：4-621-03768-4）〔開架2，527||Ko 18，0000262807〕  
→ 『住まいの中の自然 パッシブデザインのすすめ』（小玉祐一郎，丸善，2008年4月，¥2,400+税，ISBN：978-4-621-07979-9）〔開架2，527||Ko 18，0000325065〕
- [2] 『エコロジー建築・都市 002 エコ・ハウジングの勧め』（小玉祐一郎，丸善，1996年6月（2013年4月現在在庫なし），¥1,800+税，ISBN：4-3621-04196-7）〔開架2，520.8||E 44||2，0000185815〕
- [3] 『くうねるところにすむところ 07 子どもたちに伝えたい家の本 地球と生きる家』（野沢正光，インデックス・コミュニケーションズ，2005年7月，¥1,600+税，ISBN：4-7573-0317-3）〔開架2，527||Ku 41||7，0000301067〕【絵本】（「くうねるところにすむところ」シリーズは，絵本で，親しみやすいのでお薦め）
- [4] 『設計のための建築環境学 みつける・つくる バイオクライマティックデザイン』（日本建築学会，彰国社，2011年5月，¥2,400+税，ISBN：978-4-395-00894-0）〔開架2，525.1||N 77，0000342850〕 など

#### 伝統的な環境調整

- [5] 『絵典 世界の建築に学ぶ知恵と工夫』（ジョン・S・テイラー著，後藤久訳，彰国社，1989年3月，¥1,600+税，ISBN：4-395-05082-4）〔開架2，527||Ta 98，0000236641〕【絵が 沢山】
- [6] 『百の知恵双書012 湖上の家，土中の家 世界の住まい環境を測る』（益子義弘+東京芸術大学益子研究室，農文協，2006年10月，¥2,667+税，ISBN：4-540-04080-4）〔開架2，383.9||Ma 67，0000310775〕〔書庫，383.9||Ma 67，0000307804〕
- [7] 『くうねるところにすむところ 17 子どもたちに伝えたい家の本 わらの家』（大岩剛一，インデックス・コミュニケーションズ，2006年7月，¥1,600+税，ISBN：4-7573-0393-9）〔開架2，527.04||Ku 94||17，0000315985〕【絵本】
- [8] 『INAX BOOKLET 風と建築』（INAX ギャラリー企画委員会企画，住友和子編集室+村松寿満子編，INAX 出版，2004年3月，¥1,500+税，ISBN：4-87275-827-7）〔開架2，524.92||Su 66，0000283835〕
- [9] 『民家のしくみ 環境と共生する技術と知恵』（坊垣和明，学芸出版社，2008年4月，¥1,800+税，ISBN：978-4-7615-1241-5）〔開架2，521.86||B 62，0000318830〕 など

## 日本の民家

- [10] 『熊本の家と暮らし』（石井清喜，石井清喜，1991年6月，¥3,880+税（古書），ISBN：なし）〔郷土資，K 521.86 || I 75，0000083082，0000083083〕
- [11] 『平凡社新書 094 民家に学ぶ家づくり』（吉田桂二，平凡社，2001年6月，¥700+税，ISBN：4-582-85094-4）〔文庫本，080 || H 51 || 094，0000276163〕
- [12] 『建築の絵本 日本人のすまい 住居と生活の歴史』（稲葉和也・中山繁信，彰国社，1983年4月，¥2,330+税，ISBN：4-395-27021-2）〔開架2，521 || I 51，0000176699〕【絵が沢山】（「建築の絵本」シリーズは，絵が多く親しみやすいのでお薦め）
- [13] 『新版 図説 日本の文化をさぐる 民家の事典』（川島宙次監修，島田アツヒト文/絵，小峯書店，2004年1月，¥2,700+税，ISBN：4-338-07507-4）。〔開架2，383.9 || Sh 36，0000295139〕【絵が沢山】
- [14] 『古代の伝承絵 民家の来た道』（川島宙次，相模書房，1992年1月，¥2,816+税，ISBN：4-7824-9105-0）〔開架2，521.86 || Ka 97，0000254063〕【絵が沢山】
- [15] 『風土にあった生活 和風建築の大研究 日本人の智慧と工夫』（PHP研究所編，PHP研究所，2006年4月，¥2,800+税，ISBN：4-569-68601-X）〔開架2，521 || P 56，0000308711〕【絵が沢山】
- [16] 『百の知恵双書013 日本人の住まい 生きる場のかたちとその変遷』（宮本常一，農文協，2007年3月，¥2,667+税，ISBN：4-540-04081-8）〔開架2，383.9 || Mi 77，0000307501，0000310776〕
- [17] 『民家造 素材を生かす技，暮らしを映すかたち』（安藤邦廣，学芸出版社，2009年2月，¥2,400+税，ISBN：978-4-7615-2452-4）〔開架2，527 || A 47，0000322821〕
- [18] 『INAX BOOKLET 舟小屋 風土とかたち』（INAXギャラリー企画委員会企画，住友和子編集室+村松寿満子編，INAX出版，2007年3月，¥1,500+税，ISBN：4-87275-839-9）〔開架2，384.36 || I 54，0000308358〕
- [19] 『京の町家』（中村昌生，河原書店，1994年7月，¥922+税，ISBN：4-7611-0126-1）〔開架2，521.86 || N 37，0000276510〕
- [20] 『京町家の遺伝子』（山本良介，学芸出版社，2006年11月（2013年4月現在在庫なし），¥2,000+税，ISBN：4-7615-2396-4）〔開架2，521.86 || Y 31，0000317641〕
- [21] 『京の町家めぐり』（蔵田敏明+柴田佳彦，淡交社，2001年5月（2013年4月現在在庫なし），¥1,500+税，ISBN：4-473-01811-3）〔開架2，383.9 || Ku 56，0000253739〕
- [22] 『「縁側」の思想 アメリカ人建築家の京町家への挑戦』（ジェフリー・ムーサス，祥伝社，2008年4月，¥1,600+税，ISBN：978-4-396-61305-1）〔開架2，521.86 || Mo 81，0000324660〕
- [23] 『建築探訪2 琉球の住まい 光と影のかたち』（福島駿介，丸善，1993年11月（2013年

4月現在在庫なし), ¥2,300+税, ISBN: 4-621-03902-4) [開架2, 523.199||F 84, 0000301590]

- [24] 『くうねるところにすむところ 03 子どもたちに伝えたい家の本 オキナワの家』(伊礼智, インデックス・コミュニケーションズ, 2004年11月, ¥1,600+税, ISBN: 4-7573-0276-2) [開架2, 527||Ku 41||3, 0000301070] 【絵本】 など

## 世界の民家

- [25] 『建築家なしの建築』(バーナード・ルドフスキー, 渡辺武信訳, 鹿島出版会, 1984年1月, ¥1,800+税, ISBN: 4-306-05184-6) [開架2, 520.2||R 82, 0000307809], [書庫, 520.2||R 82, 0000232300]
- [26] 『角川 one テーマ 21 C-105 カラー版 世界の不思議な家を訪ねて-土の家, 石の家, 草木の家, 水の家』(小松義夫, 角川書店, 2006年2月, ¥924+税, ISBN: 4-04-710034-X) [文庫本, 080||Ka 14||C-105, 0000299154] 【写真が沢山】
- [27] 『絵でみるヨーロッパの民家』(川島宙次, 相模書房, 1987年11月, ¥3,400+税, ISBN: 4-7824-8703-7) [開架2, 523.3||Ka 97, 0000250977] 【絵が沢山】
- [28] 『世界の民家 住まいの創造』(川島宙次, 相模書房, 1990年6月 (2013年4月現在在庫なし), ¥3,350+税, ISBN: 4-7824-9004-6) [開架2, 520.2||KA1, 0000053675] 【絵が沢山】
- [29] 『稲作と高床の国 アジアの民家』(川島宙次, 相模書房, 1989年1月, ¥3,800+税, ISBN: 4-7824-8901-3) [開架2, 522||Ka 97, 0000254064] 【絵が沢山】
- [30] 『建築の絵本 世界の建築術 人はいかに建築してきたか』(若山滋・TEM研究所, 彰国社, 1986年10月, ¥2,500+税, ISBN: 4-395-27026-3) [開架2, 520.2||W 28, 0000177787] 【絵が沢山】
- [31] 『旅の絵本 地中海・町並み紀行』(吉田桂二, 東京堂出版, 1997年3月, ¥2,500+税, ISBN: 4-490-20189-3) [開架2, 293.09||Y 86, 0000308279]
- [32] 『集住の知恵 美しく住むかたち』(日本建築学会, 技報堂出版, 2005年7月, ¥2,000+税, ISBN: 4-7655-2482-5) [開架2, 527||N 77, 0000303392]
- [33] 『考古学者石野博信のアジア民族建築見てある記』(石野博信, 小学館, 2004年1月 (2013年4月現在在庫なし), ¥1,600+税, ISBN: 4-09-626070-3) [開架2, 522||I 79, 0000300730]
- [34] 『地球のカタチ ぼくの家は「世界遺産」』(小松義夫, 白水社, 2007年11月, ¥1,500+税, ISBN: 978-4-560-03172-8) [開架2, 383.9||Ko 61, 0000319893]
- [35] 『世界のスローハウス探検隊 日本・世界の「建築家なしの住宅」を巡る』(中山繁信, エクスナレッジ, 2008年12月, ¥2,000+税, ISBN: 978-4-7678-0744-7) [開架2, 527||N



45, 0000325066]

- [36] 『可笑しな家 世界中の奇妙な家・ふしぎな家 60 軒』（黒崎敏・ビーチテラス編著，二見書房，2008年7月，¥1,900+税，ISBN：978-4-576-08095-6）〔開架2，527||Ku 76，0000324887〕  
など

#### 世界中の特徴ある家々の写真集など

- [37] 『ヨーロッパの家 伝統の街並み・住まいを訪ねて 1～4』（樺山一紘監修，和田久士写真，講談社，2000年5月～11月（2013年4月現在一部在庫なし），各¥3,800+税，ISBN（順に）：4-06-271051-X，4-06-271052-8，4-06-271054-4，4-06-271053-6）〔第1巻：開架2，523.3||Y 84||1, 0000249631, 0000250972, 0000279913〕，〔第2巻：開架2，523.3||Y 84||2, 0000249632, 0000250973, 0000279914〕，〔第3巻：開架2，523.3||Y 84||3, 0000249633, 0000279915〕，〔第4巻：開架2，523.3||Y 84||4, 0000244116, 0000279916〕
- [38] 『日本の家 風土・歴史・ひとが築いた町並みと住まい 1～4』（藤井恵介監修，和田久士写真，講談社，2004年3月～2005年2月（2013年4月現在在庫なし），各¥3,900+税，ISBN（順に）：4-06-271071-4，4-06-271072-2，4-06-271073-0，4-06-271074-9）〔第1巻：開架2，521.86||N 77||1, 0000291443〕，〔第2巻：開架2，521.86||N 77||2, 0000291444〕，〔第3巻：開架2，521.86||N 77||3, 0000291445〕，〔第4巻：開架2，521.86||N 77||4, 0000294678〕

など

#### 図版の出典

- ① 『民家の自然エネルギー技術』（木村健一編著，彰国社，1999年3月，¥4,381+税，ISBN：4-395-00521-7）〔開架2，528||Ki 39, 0000221515, 0000221516, 0000250748, 0000250749〕
- ② 『自然エネルギー利用のためのパッシブ建築設計手法事典 新訂版』（彰国社編，彰国社，2000年7月，¥2,800+税，ISBN：4-395-11095-9）〔開架2，528.2||Sh 96, 0000251719, 0000253535〕
- ③ 『Sol Power - The Evolution of Solar Architecture -』（Sophia and Stefan Behling, Prestel, 1996, US\$ 65.00, ISBN：3-7913-1670-2）〔所蔵なし〕  
→ソフトカバー版もあり。（『Solar Power』, 2000, ISBN：3-7913-2411-X）〔3 F 洋, 520.1||B 32, 0000279755〕
- ④ 『住まいと文化』（アモス・ラポポート著，山本正三他訳，大明堂，1987年6月（2013年4月現在在庫なし），¥2,800+税，ISBN：4-470-05004-0）〔開架2，290.17||RA 1, 0000263427〕  
〔書庫, 290.17||RA 1, 0000063829〕
- ⑤ 『改訂版 生活文化史 日本人の生活と住まい- 中国・韓国と比較して-』（平井聖，放送大学教育振興会，1998年8月（2013年4月現在在庫なし），¥2,000+税，ISBN：4-595-21858-3）

[開架2, 383.9||H 64, 0000233055, 0000249812]

- ⑥『住まいの伝統技術』（安藤邦廣・乾尚彦・山下浩一，建築資料研究社，1995年3月（2013年4月現在在庫なし），¥3,786+税，ISBN:4-87460-455-2）[開架2, 521.86||A 47, 0000218064]

#### 4. 参考 URL

- [1] 講義資料のダウンロード

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/kougi.html/tsukuru.html/kyojyutsukuru.html>

- [2] 『世界の環境共生住宅』（ダイワハウスのホームページより）

<http://www.daiwahouse.co.jp/eco/column/world/index.html>

- [3] 『鉄腕 DASH』（DASH 村のホームページあり，日本テレビのホームページより）

<http://www.ntv.co.jp/dash/>

- [4] 肥後民家村のホームページ（熊本県和水町，入場料無料）

[http://www.town.nagomi.lg.jp/one\\_html3/pub/default.aspx?c\\_id=56](http://www.town.nagomi.lg.jp/one_html3/pub/default.aspx?c_id=56)

- [5] 角屋保存会のホームページ

<http://www16.ocn.ne.jp/~sumiyaho/>

- [6] 沖縄県中城村の中村家のホームページ

<http://www.nakamura-ke.net/>

- [7] 「環境デザインマニアック」のホームページ

<http://www.tamabi.ac.jp/kankyoku/kishimoto/default.htm>

- [8] 「京町屋資料館」のホームページ

<http://craft.kyoto-np.co.jp/osusume/>

- [9] 長崎国際観光コンベンション協会 長崎さるくのホームページ

<http://www.saruku.info/>

#### 5. スライドリスト

- 1) 青森県黒石市の「こみせ」の夏の様子（2）と同じ場所
- 2) 青森県黒石市の「こみせ」の冬の様子（1）と同じ場所
- 3) 青森県黒石市の「こみせ」の内部の通路（夏）
- 4) 青森県黒石市の「こみせ」の内部の通路（冬）
- 5) 青森県黒石市の「こみせ」と冬の雪
- 6) 青森県黒石市の「こみせ」の雪が入ってこない工夫
- 7) 新潟県上越市高田の「雁木」の古い写真（2m以上の積雪）

- 8) 新潟県上越市高田の「雁木」とバス停
- 9) 新潟県上越市高田の「雁木」のうち「落とし込み雁木」と梯子
- 10) 新潟県上越市高田の「雁木」のうち「造り込み雁木」
- 11) 新潟県上越市高田の「雁木」と電話ボックス（電話が内側を向いている）
- 12) 石川県の能登半島の日本海側の防風林
- 13) 対馬の石屋根（肥後民家村）
- 14) オランダ・アムステルダム煉瓦造の住居
- 15) イギリス・チェスターの街並み（ハーフ・ティンバー構法）
- 16) イギリス・チェスターの街並み（ハーフ・ティンバー構法）
- 17) イギリス・チェスターの街並み（ハーフ・ティンバー構法）
- 18) イギリス・チェスターのチェスター・ロー
- 19) イギリス・チェスターの中心部の交差点にて
- 20) 石川県金沢市の「あめの俵屋」（1階の庇下の垂れ壁に注意）
- 21) 石川県金沢市の民家の中庭を囲む部屋
- 22) 石川県金沢市の民家の中庭を囲む部屋とすだれ
- 23) 京都市の島原にある「角屋」の縁側
- 24) 旧河野家住宅（肥後民家村）の縁側
- 25) 中村家住宅（沖縄県北中城村）の雨端（アマハジ）
- 26) タイ・バンコクの寺院（急傾斜の屋根に注意）
- 27) マレーシア・ペナン島・ジョージタウンのショップハウス
- 28) ・ペナン島・ジョージタウンの街並み
- 29) マレーシア・ペナン島・ジョージタウンのショップハウス（拡大）
- 30) マレーシア・ペナン島・ジョージタウンのショップハウスのファイブ・フット・ウェイ
- 31) シンガポールのショップハウスの鎧戸
- 32) 長崎市・東山手十三番館（設計：不詳，1876年）の鎧戸
- 33) 長崎市・東山手十三番館の鎧戸と留め金（拡大）
- 34) 長崎市・旧内外クラブ記念館（旧長崎内外倶楽部）（設計：不詳，復原設計：波多野純建築設計室，1903年，2000年復原）のベランダ
- 35) シンガポールの裏道（たくさんのエアコンの室外機に注意）
- 36) マレーシアの伝統的な高床式住居（マラッカ，タマン・ミニ・マレーシア）
- 37) マレーシアの伝統的な住居（マラッカ，タマン・ミニ・マレーシア）の風を通す壁
- 38) マレーシアの伝統的な竹製の住居（マラッカ，タマン・ミニ・マレーシア）
- 39) マレーシアの伝統的な住居（マラッカ，タマン・ミニ・マレーシア）の竹の床
- 40) スペイン南部のある街（白い家が立ち並ぶ）

- 41) スペイン・セビリアの街並み
- 42) イスタンブールの市場で（単に色が綺麗だったので・・・）
- 43) スペイン・グラナダの中庭を持つ家
- 44) スペイン・セビリアの噴水のある中庭
- 45) スペイン・マラガの細い路地
- 46) バルセロナのビルの日除け
- 47) イタリア・ボローニャのポルティコ
- 48) イタリア・ボローニャのポルティコの原型
- 49) オーストラリア・シドニーの Grosvenor Place（設計：Harry Seider & Associates, 1982～1988年）
- 50) オーストラリア・シドニーの Grosvenor Place の日除け装置
- 51) オーストラリア・シドニーの Grosvenor Place の日除け装置（拡大）
- 52) オーストラリア・シドニーの East Circular Quay（設計：Andrew Andersons（Peddle Thorp & Walker）, 2000年）の住居部分（？）の日除けのアップ
- 53) オーストラリア・シドニーの The King George V Recreation Centre（設計：Ed Lippmann, 1988年）
- 54) オーストラリア・シドニーの The King George V Recreation Centre の自然換気のための排気口
- 55) オーストラリア・シドニーの The King George V Recreation Centre の自然換気のための吸気口（ルーバー）
- 56) 大阪市水上消防署（設計：大阪市都市整備局営繕部設計課＋堀場弘＋工藤和美（シーラカンズ K&H）, 1999年）
- 57) 大阪市水上消防署の可動式ルーバー
- 58) 福岡市・アクロス福岡（設計：日本設計＋竹中工務店, 1995年）の屋上庭園
- 59) 屋上緑化された平安郷（河井敏明設計, 沖縄県うるま市）
- 60) フランス・パリのアラブ世界研究所（設計：Jean Nouvel + Architecture Studio, 1981～1987年）
- 61) フランス・パリのアラブ世界研究所のダイヤフラムの窓
- 62) ドイツ・ベルリンの北欧諸国大使館（設計：Alfred Berger + Tiina Parkkinen, 1995～1999年）→デンマーク, アイスランド, ノルウェー, スウェーデン, フィンランドの大使館
- 63) ドイツ・ベルリンの北欧諸国大使館のカッパー・バンド（銅の薄板）
- 64) ドイツ・ベルリンの北欧諸国大使館のうちのデンマーク大使館部分